

# センターだより

〈発行〉

平成24年3月1日

〈発行〉 国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局 神戸視力障害センター  
神戸市西区曙町1070 電話 (078) 923-4670 FAX (078) 928-4122  
URL : <http://www.kobe-nhb.go.jp/> E-mail : [syomu@kobe-nhb.go.jp](mailto:syomu@kobe-nhb.go.jp)

## 平成23年度 就労移行支援(養成施設)

## 卒業生からの言葉

平成24年2月28日 平成23年度卒業証書授与式が行われました。  
今年度の卒業生から、仲間に向けての言葉をいただきました。

### 石田 大輝

神戸センターで、多くの人と出会い、沢山のことを学ぶことができました。勉強の他にも、視覚障害者スポーツの大会や交流会などに参加し、多くの経験を得ることができました。

多くの方に支えていただけたおかげで、卒業を迎えます。ありがとうございました。

### 岩井 良之

センターでの3年間はあっという間に過ぎたように感じています。勉強が大変だったのと、体調不良に悩まされたりで、順調とはいかなかったのですが、先生方やクラスの皆様のサポートのお陰で卒業までたどり着くことができました。本当にありがとうございました。今後はセンターで学ばせていただいたことを、精一杯お返しさせていただきたいと思っています。

### 上田 正彦

一度はあきらめていた社会復帰。自立訓練での3か月間の訓練で勇気を貰い、その中で理療の授業を見学させていただき、まだ可能性があるかも…と思い、理療の門をくぐった。しかし、慣れない教科、勉強に戸惑い、国家試験合格よりも定期試験、進級、卒業を目標に置き換えてやってきました。

クラスの仲間、皆様方の御協力、御支援、御指導のおかげで、楽しくおもしろいセンター生活を送らせていただき、今日を迎えることが出来ました。心より

感謝いたしております。

また、ここでの貴重な経験を基に、これから先、頑張って生きてゆこうと思います。いろいろとお世話になり、ありがとうございました。

### 大河内 健一郎

やっと、卒業することが出来ました。普通であれば3年間で卒業できるところを、突然のアクシデントにより、もう1年余分にかかってしまいました。

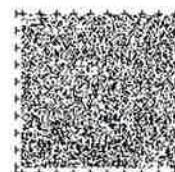
みんなより、1年多い分、いろいろな人たちにご迷惑をかけました。

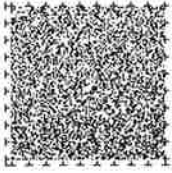
ありがとうございました。

### 長澤 欣男

当センターに入って3年、当初は3年長いなと思っていました。

これまでの会社勤めから学生に、机に向かっての勉





強は30数年ぶり、慣れるのが大変でした。1年の夏休みに経穴を必死のタッチで覚えたのがつい先日のようです。

身体の仕組みや東洋医学にまったく知識がなかった私でしたが、3年間勉強させてもらったことで多少は身についたと感じています。

同じクラスになった人達と楽しく過ごせたことを嬉しく思っています。

センターで学んだことを生かして社会に出て頑張っていきたいと思っています。

センターの職員の皆さん、ありがとう御座いました。

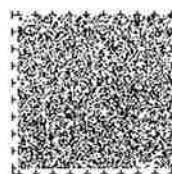
### 合田 喜一

いままでの学生生活の中で、一番真面目に授業を受けた3年間でした。これも、諸先生方を初め同期の皆さんのおかげと感謝しています。これからの人生残り少ないですが、東洋医学の真髄に一步でも近づくよう精進していきたいと思っています。あんま道一筋か？

### 高田 秀俊

月日が経つのは早いもので、あっと言う間の3年間でした。思い返せば、4年前に失明して半年の入院を経て、自立訓練を受けるためにこの神戸センターの門を叩いたのがついこの前のように思えます。訓練の合間にあった理療の授業見学で興味を魅かれ、思い切って入所して良かったと心から思います。

当初は、体調、体力のことや専門的な勉強も続けて



いけるのかという不安もあり、悩みもしました。ただ、一度家に帰って心の張りを失えば、再びこのような機会に巡りあわないと思い、入所を決断しました。

最初は勉強も大変でしたが、日々のパソコンを用いたまとめなどの習慣が身に付けば、結構楽なものでした。当センターにて出会ったクラスメートおよび先輩や後輩達、そしてセンターの先生や職員など、とても良い出会いに恵まれました。また、寮での生活も楽しく充実したものでした。

私は全盲なので、いろいろと周りの方々にお世話をかけましたが、暖かく見守っていただき、時には手を貸していただきとても感謝しています。卒業にあたり、この場を借りて関わった人々に御礼の言葉を言いたいと思います。本当に有難うございました。

### 中野 安基

はやっ、もう卒業！

### 横山 理矢子

とても有意義な時間と空間をクラスのみんなと共有できたことが心に残っています。

楽しい時も苦しい時もあつという間に過ぎていった感じがします。

ここまでよく続けられたと自分を褒めてやりたい気分です。

ここでの思い出を大切に仕事がんばりたいと思います。

ここで得た知識と技術で、次は自分を支えてくれた人たちに恩返しができたらと思います。

皆さん お世話になり、ありがとうございました。  
神戸光明寮 ばんざい！！

### 和田 政造

最初は通所も不安だらけでした。JRの階段で足を踏み外し中段まで転げ落ちたこともありました。地域社会の皆さんの御協力のお陰もあり、電車とバスを使ってセンターまで毎日通学することができました。

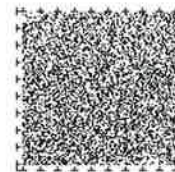
私の目標としては、鍼の国家試験合格後、自宅で鍼とあん摩マッサージ指圧の治療院を開業したいと思います。

4年間、センター職員の方々、本当に有り難うございました。



# 卒業生の方々へ

光友会会長 芝 研 一



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんには、私たちが勉強に苦しんでいる時や慣れない寮生活に悩んでいる時、色々とアドバイスをいただくなど大変有難うございました。

三年間長かったですか？あっという間でしたか？いずれにせよ皆さんは色々な困難を乗り越え卒業という目標に見事たどり着きました。ぜひ私たちも見習いたく思います。

国家試験を取得された暁にはセンターで知識と技術を如何なく発揮され日々研究し発展・飛躍・ご活躍される事をお祈りしてお祝いの言葉といたします。

頑張ってください。



## 自立訓練（機能訓練）

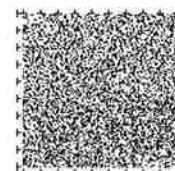
## 短期利用者の声

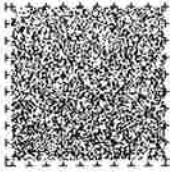


平成23年8月15日～8月19日の間、自立訓練（機能訓練）を利用されたM. Nさんから感想の言葉をいただきました。

5日間、本当にお世話になりました、ありがとうございました。改めて「見ること」を自覚できた5日間でした。通所ではなく、入所できたことも良かったと思います。私たちロービジョンの者は（特に中途障害となる者にとっては）「見える人（健常者）」と「見えない人（全盲）」との間のグレーゾーンで、限りなく白に近いグレーから限りなく黒に近いグレーまで、その見え方は本当に幅広いものだろうし、それは個々人によっても微妙に違ってきます。その一人ひとりのニーズに合わせた支援プランを組むことは、とても難しいことだと思います。ましてや5日間しかない私をアセスメントするために、実態がなかなか掴めず苦勞なさったのではないのでしょうか。

将来、自分の目がどうなっていくかの不安は常にあります。そしてこの病気である限り、どんなペースでどんな風に視野が欠けていき、どう視力が落ちて行くのか、本当に日々苦悩しています。センターがその中で1つの心の拠り所として存在してくれればうれしいです。





余

暇

活

動

支

## 盲導犬体験会

平成24年2月3日（金）、余暇活動支援として盲導犬講習会を開催いたしました。

今年度も、兵庫盲導犬協会にご協力を頂き、講師二名、盲導犬二頭を派遣していただきました。

センター利用者の参加は2名でしたが、その分、じっくり時間をかけて盲導犬と触れ合うことができました。ブラッシング体験では、三種類のブラシを使い分ける方法や、直に接触して盲導犬の体調を把握する心得などを習いました。「ウェイト（待て）」「シット（座れ）」等の命令を聞かせる服従訓練の体験でコミュニケーションをとったあと、ハーネスをつけて体験歩行を行いました。こちらも、方向指示の練習から直線歩行、障害物回避まで実際の訓練に近い体験ができました。

講習会が終了するころには、今回きてくれた二頭の盲導犬、タバサとデイジーともすっかり仲良くなれ、参加した方は大満足の講習会でした。



## アイフェスタ2011 in 神戸

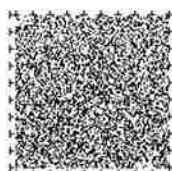
平成23年10月16日（日）に神戸市立六甲道勤労市民センターで開催された「アイフェスタ2011 in 神戸」に利用者5名、引率職員4名で参加しました。

今回は19社の企業が参加し、福祉機器やユニバーサルデザインのグッズが多数展示され、『眼科医による無料相談コーナー』、『社会保険労務士がお答えする年金相談コーナー』、『ケアメイク講習会』も同時に行われていました。参加した皆さんはそれぞれ興味のあるコーナーで足を止め、説明を受けたり、相談をしていました。



『オーデコ（額感覚認識システム）体験コーナー』も大変盛況で、おでこを活用し物の形を知るなど、未知の感覚を体験し、大きな興味を示していました。

今回参加した皆さんは専門家への相談や、様々な便利な機器を体験するなど有意義な時間を過ごすことができ、大変満足していました。



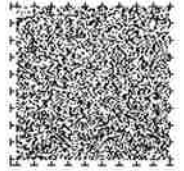
援

の

ご

紹

介



## 自立訓練レクリエーション

11月25日、自立訓練の利用者6名の参加のもと、センター教室棟からも見える、本州と淡路島とを結ぶ吊橋、明石海峡大橋へ所外レクに出かけました。

明石海峡大橋は、全長3,911mの吊橋で、吊橋の規模を示す中央支間長(塔と塔の距離)は、世界一の1,991mを誇ります。さらに主塔の高さは海面上約300mで、東京タワー(333m)とほぼ同じ高さになります。

潮流が激しく、水深の深い明石海峡に、橋梁技術の粋が集められ、建設された橋を、普段、じっくり見学することがないため、参加者も、橋の様子に圧倒されていました。

橋の科学館では、実際に触れて楽しめる展示物もあり、橋の構造や建設経過を分かりやすく解説した資料やDVD放映があり、ワイヤーの太さや、潮風に錆びないための工夫を知り、一同感心させられました。

また、舞子海上プロムナードは、海面から約47m、陸地から約150m、明石海峡へ突出した延長約317mの回遊式遊歩道で、もろに風が吹き抜けるため、展望ラウンジの中で休憩し、しばし暖をとり記念撮影を行いました。

時間はすぐに過ぎ、参加者からは、寒かった、疲れた等の感想をもらい、無事に参加者一同帰途に着きました。幸い、翌週の訓練を風邪で欠席することもなく、一安心しました。機会があれば、皆さんもゆっくりと橋見学してみたいかたがたでしょう。



## 視覚障害者の理解のために

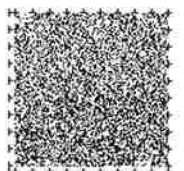
### 神戸市立出合小学校「福祉体験学習」

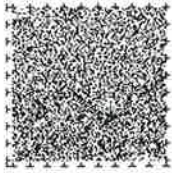
10月7日、小学4年生95名を対象に「福祉体験学習」を、神戸市立出合小学校体育館で行いました。自分たちの生活に身近にいる障害者に対し、ちょっとした思いやりや優しさを持つことの大切さに気づけ、相手の側に立った言葉かけや工夫について感覚的に体験することを目的に行いました。

95名を6グループに分け次の内容で行いました。①目隠しして一人で歩く②前ならえをして歩く③手を横に広げて歩く④電車ごっこのように肩に手を置いて歩き、先頭を次々に交替するもので、二人一組になり目隠しと誘導する体験を交互にするという4つの構成としました。

特に④で先頭の子を一番後に来てもらうときに、声かけやちょうどの場所に移動してきてもらうことの難しさや、適切な言葉や手を叩くなどの工夫が大切なことが実感されたようです。

今後も地域との交流を深めていく上でも、「福祉体験学習」の取組を継続していく予定です。





# 神戸マラソン・ボランティア参加

11月20日、前日の雨も一転晴れ、第1回神戸マラソンが開催されました。コースとなった須磨から舞子の海岸からは明石海峡大橋が見え、新長田では鉄人28号モニュメントが約2万3千人のランナーを見守り、沿道では市民が声援を送りました。当センターも地域貢献と広報活動の一環として4名の理学教官（原口、土志田、山田、浅井）がマッサージボランティアへ参加し、ゴール後の更衣室となったポートアイランド国際展示場の一隅に、折りたたみ式ベッド2台を持ち込み、昼過ぎから約5時間で延33名のランナーへ施術しました。腓筋筋痙攣や関節痛の主訴の他は疲労回復を目的に交代で施術し、競技歴や神戸の印象などを伺いました。終了後、別室の女子更衣室で業団体の一員として施術していた当センター出身者とバツリ再会し、その活躍ぶりを知ることもできました。



民が声援を送りました。当センターも地域貢献と広報活動の一環として4名の理学教官（原口、土志田、山田、浅井）がマッサージボランティアへ参加し、ゴール後の更衣室となったポートアイランド国際展示場の一隅に、折りたたみ式ベッド2台を持ち込み、昼過ぎから約5時間で延33名のランナーへ施術しました。腓筋筋痙攣や関節痛の主訴の他は疲労回復を目的に交代で施術し、競技歴や神戸の印象などを伺いました。終了後、別室の女子更衣室で業団体の一員として施術していた当センター出身者とバツリ再会し、その活躍ぶりを知ることもできました。

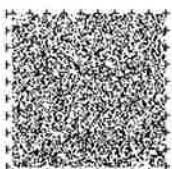
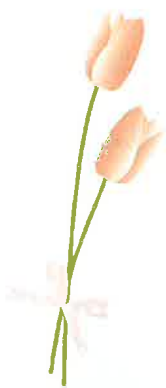


## 臨床研修講座

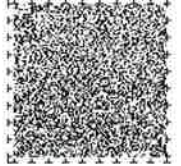


各界で活躍する著名な臨床家を招き、直接指導を受けることで、より実践的な臨床技術の修得を目指して、今年度も計5回開催しました。

月日	テーマ	講師	内容(概要)	所感・感想
9月7日	間接灸の基礎と臨床応用	(株)山正・瀬田先生	艾製造方法のビデオ紹介・灸を多く用いる治療院の特徴・間接灸の実際	特に艾製造過程は国試の灸理論にも関係して臨床だけでなく国試対策にもなった。
10月14日	リンパドレナージュについて	(学法)後藤学園・田子先生	リンパの流れ、リンパ浮腫の統計データ、治療方法、適応と禁忌	浮腫は臨床で多く遭遇する症状でもあり、その治療法の一つであるリンパマッサージは好評であった。受講者から適応範囲・治療法に関して多くの質問も出され関心の深さが伺えた。
11月11日	月経困難症の鍼灸治療	明治国際医療大学・矢野先生	月経困難症について、鍼灸治療の適応範囲、東洋医学的な治療	月経困難症という理学療法にあたって診断や治療が非常に困難な疾患であるが、大変丁寧に講義・実技が行われた。
11月16日	鍼施術の医療過誤について	森ノ宮医療大学・尾崎先生	鍼灸の事故・過誤、リスクを避けるための鍼の刺し方、事故・過誤の事例	事故・過誤の裁判事例は大変わかりやすく、実技ではリスクの少ない小児鍼の使い方など、より実践的で理解が深まった。
12月14日	中医学を基礎とした鍼灸治療	北辰会代表・藤本先生	内傷病と外感病、四大四診について。2症例に対しての実技（四大四診、治療の実践）	鍼灸業界で著名な先生から中医学の基礎をわかりやすく教わることができ、受講生からも感嘆の声があがっていた。



# 視覚障害者支援システムを体験する



12月16日に「点字と触地図による視覚障害者支援システムの研究開発」中間成果報告会が当センターにて行われました。神戸大学・新潟大学より研究開発チームの先生方が来所し、研究成果の紹介とデモンストレーションが行われました。講演では「ebraille」と「e-learning」の紹介があり、その後ebraille、e-learning、TMACSの実演がありました。「ebraille」とは漢字仮名交じり文を点字に自動翻訳が可能なWebシステムで、神戸大学医学部附属病院で実際に使用されています。「e-learning」は弱視者の点字識字率向上を目的とした自己学習システムです。「TMACS」は触知図の原図を視覚障害者自身が作成できるシステムです。総務省からの交付を受けた研究でもあり利用者からの興味も高く、総勢56名の参加があり大盛況でした。詳細はWebで公開中です。



「e-learning」は弱視者の点字識字率向上を目的とした自己学習システムです。「TMACS」は触知図の原図を視覚障害者自身が作成できるシステムです。総務省からの交付を受けた研究でもあり利用者からの興味も高く、総勢56名の参加があり大盛況でした。詳細はWebで公開中です。

「ebraille」→<http://ebraille.med.kobe-u.ac.jp/>

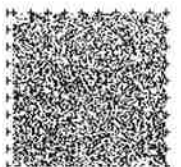
「e-learning」→<http://ebraille.med.kobe-u.ac.jp/edubraille>

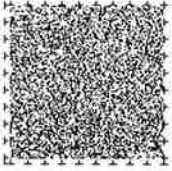
「TMACS」→<http://tmacs.eng.niigata-u.ac.jp/tmacs-dev/>

## センター行事予定

(2012年4月から2012年9月)

4月5日(木)	入所式	7月3日(火)	第1回模擬試験(受験学年)
9日(月)	始業式	7月上旬	第1回職場開拓委員会
	前期授業開始	7月21日(土)	利用者夏期休業
11日(水)	1年生授業開始		(専門課程、8月26日まで)
5月下旬	第1回総合避難訓練	8月27日(月)	授業・訓練開始
6月4日(月)	臨床研修コース利用開始	9月19日(水)	前期期末試験(21日まで)
19日(火)	前期中間試験(21日まで)	28日(金)	前期授業終了
25日(月)	再理療教育利用開始		臨床研修コース修了





# 利用者募集

神戸視力障害センターでは、視覚に障害のある方に、自立訓練（機能訓練）、就労移行支援（養成施設）のサービスを提供しています。

就労移行支援（養成施設）【理療教育】では、あん摩マッサージ指圧、はり（鍼）、きゅう（灸）の国家資格を目指し、4月から3年間の職業訓練を行うこととなります。勉強手段の準備や通学に向けた歩行訓練のため、事前に自立訓練を受けることもできます。

利用を希望する方、どんなことができるのか検討中の方は、一度お電話ください。見学も受け付けています。音声パソコンや便利な道具の紹介も行っています。相談は無料です。

## 自立訓練（機能訓練）

年間を通じて随時利用相談を受け付けています。

対 象	視覚障害の身体障害者手帳が交付されている15才以上の方
訓練内容	必要に応じて、歩行、音声パソコン、点字、調理、録音図書機器や便利な道具等についての訓練を実施しています。音声ガイドのある携帯電話の使い方、陶芸、レクリエーション、体育など御希望の訓練も相談してください。
時期・期間	利用開始は随時で、個別支援計画に基づき訓練期間は決定されます。会社の休職期間中に、といった相談も可能です。
時間帯	主に平日の日中の訓練です。「週1回」、「毎日午前中だけ」といったプログラムも可能です。夜間の歩行訓練を行うこともあります。
手続き	利用者募集要項にある申込書類を提出します。申込みの前にまず御連絡ください。募集要項は郵送します。ホームページからダウンロードできます。
費用	障害者自立支援法に基づく利用料が市区町村で決定され、利用日数に応じて月々の負担額が算定されます。所得に応じた上限額が設定された定率負担と実費相当分とがあります。詳細は御相談ください。
利用方法	通所、入寮（施設入所支援）、訪問訓練

## 連絡先

### 神戸視力障害センター 支援課

【電話】078-923-4670 【FAX】078-928-4122

【Eメール】sidou@kobe-nhb.go.jp

【ホームページ】<http://nrkd.jp/kobe/>

【交通アクセス】JR明石駅南側のバス停（南1番）から神姫バスで約15分、吉田バス停から徒歩約3分（バス進行方向の交差点を渡り左折、すぐにセンター正門があります。）

